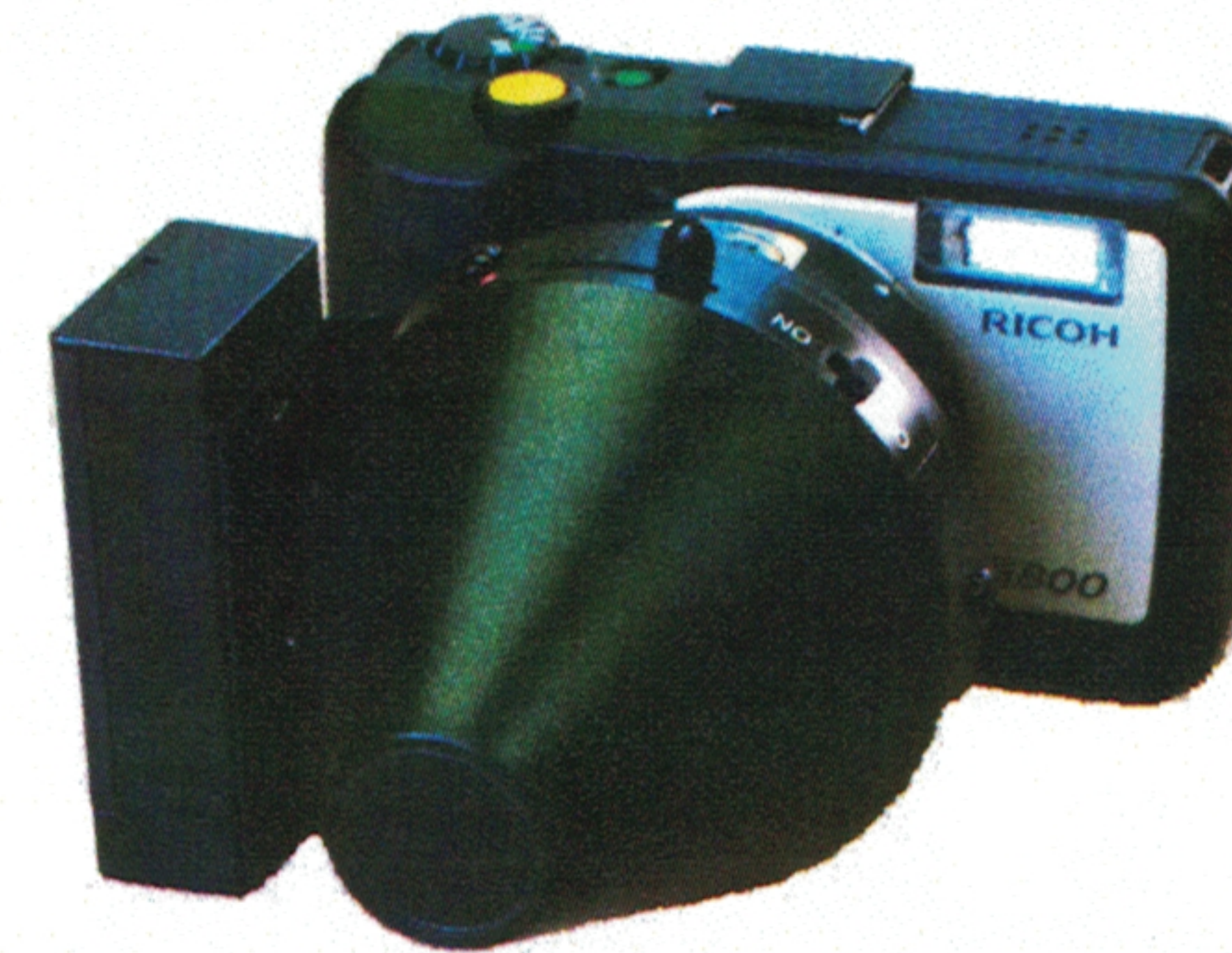




取扱説明書

皮膚科用
デジタルダーモ
Model : Derma9500S-GR



この度は、当社製品をご採用頂き有り難うございます。
ご使用前には取り扱い説明書をご一読され、十分ご理解の上ご利用頂きます
様に、お願い致します。
注意事項について、リコー製G800 使用説明書に記載された安全上の注意事項
にもご留意ください。

デルマ医療(資)

横浜市南区永田南2-11-26
TEL: 045-731-2584 FAX: 045-714-3763
E-mail : dermamdinc@ybb.ne.jp
URL : <http://dermamedical.jp/>

Derma9500Sデジタルダーモは
皮膚科用に設計されたものです。
目的以外の使用は避けてください。

セット内容の確認

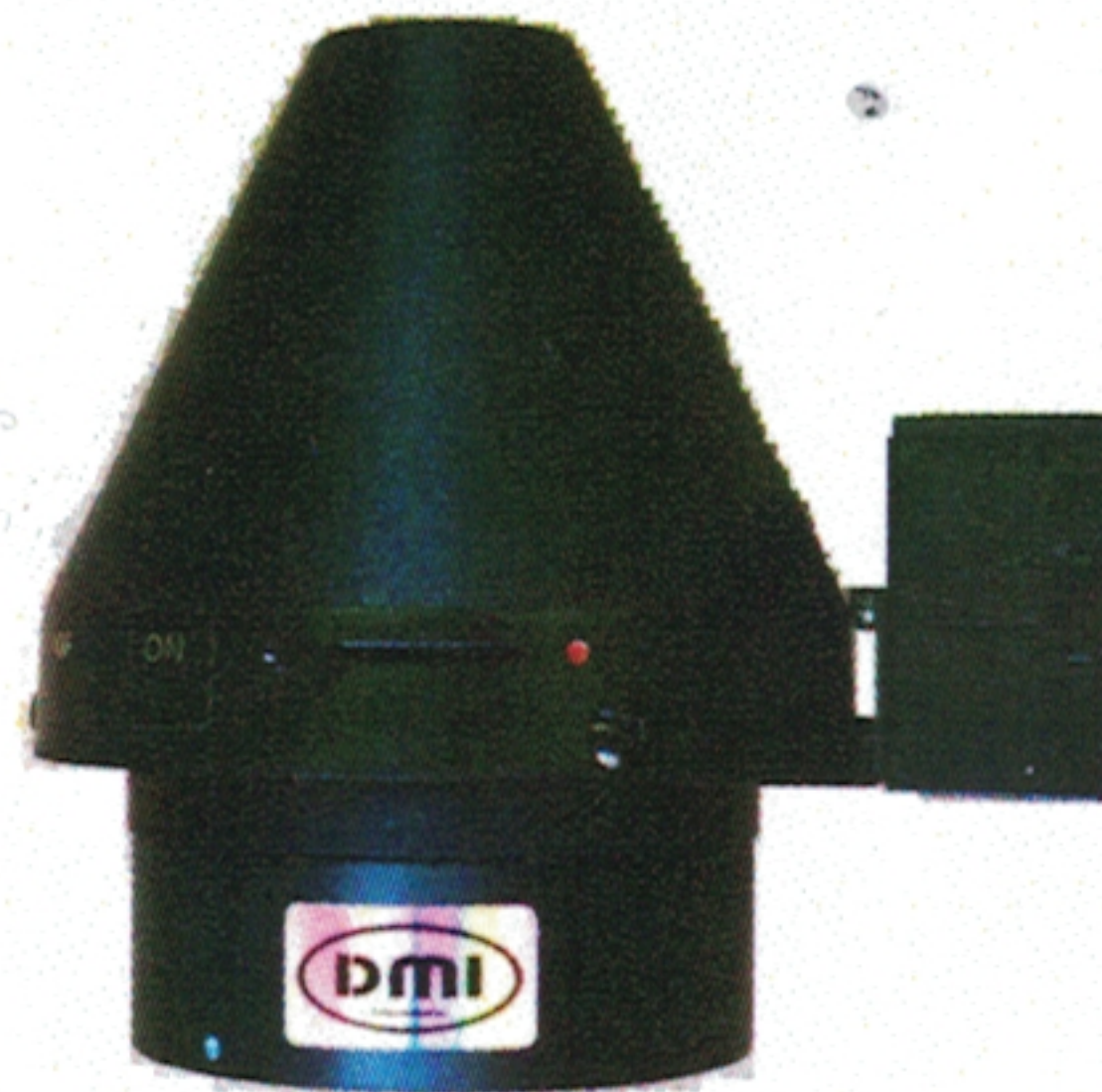
Derma9500Sには以下のものが同梱されています。

- カメラ本体一式(リコー製 G800 詳細はリコーカメラ本体の使用説明書をご覧ください。)
- 接写撮影アダプター一式
エコージェル／偏光フィルター一体型モジュール

注1)専用バッテリーは既に装填済みです。

注2)Derma9500S-GR

スイッチの横の赤い印の方に倒せば偏光フィルターモードになります。逆サイドがジェルモードになります。



アダプターをカメラに取り付ける

接写撮影アダプターをカメラ本体に取り付けます

1

カメラのマウントアダプターの上部とモジュールの後部と合わせます。

2

カメラマウント部の「●」印とモジュール(アダプター)後部の「●」印の位置を合わせて嵌め、矢印方向にストッパーに当たる位置まで廻します。磁石で固定されているため、元の方向に廻せばロックが外れますので、ご注意下さい。



修理について

修理等で当社に送付される場合は、カメラ本体と接写部ユニットを分解し、クッション材等で梱包して送付して下さい。

保証について

- ・お客様の購入日(出荷日)は当社で自動登録しています。医院名、お名前を御連絡くだされば対応致します。
- ・保証期間はご購入後1年です
- ・基本的にはカメラ本体は「株式会社リコー」の保証です。
当社接写部の保証対象も同様内容です。

「保証規定」

1. 1年間の無償修理期間後の修理は有償となります。
2. 故障原因が次の場合は補償範囲の枠外となり有償となります。
 - 1) 取り扱い不注意、誤用による故障及び損傷
 - 2) 当社以外の修理、改造、分解等による故障及び損傷
 - 3) 泥・砂・水かぶり、落下、衝撃等が原因で発生した故障及び損傷
 - 4) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷
 - 5) 保管上の不備や手入れの不備による損傷
3. 消耗品類は本保証の対象になりません。
4. 修理品の運賃・諸掛についてはお客様にて御負担願います。
5. 本製品の故障による付随的損害(撮影に要した諸費用及び撮影により得られるべき利益の逸失など)については補償致しかねます。

使用上のご注意

1. 通常使用しない時は、照明用の電源スイッチを「off」にしてください。
2. 使用中に照明が不良になった場合はデルマ医療まで御連絡下さい。
3. 清掃では接写部ユニットは柔らかい布で拭いて下さい。
ベンゼン・アルコール高揮発性溶液は使用しないで下さい。
フィルターガラス等は、検査終了毎に必ずアルコール綿等で清掃して下さい。
4. 照明光源を持っていますので光に過敏な人への使用は避けて下さい。
5. ロック機構に磁石が使用されていますので、磁石で影響される機器等にご注意下さい。

パソコンとの結合について

1. 添付のUSBケーブルでパソコンに接続し、撮影済みの画像をパソコンに転送して保存します。
2. SDカードをカードリーダー(USB接続)を使って、画像を取り込む。

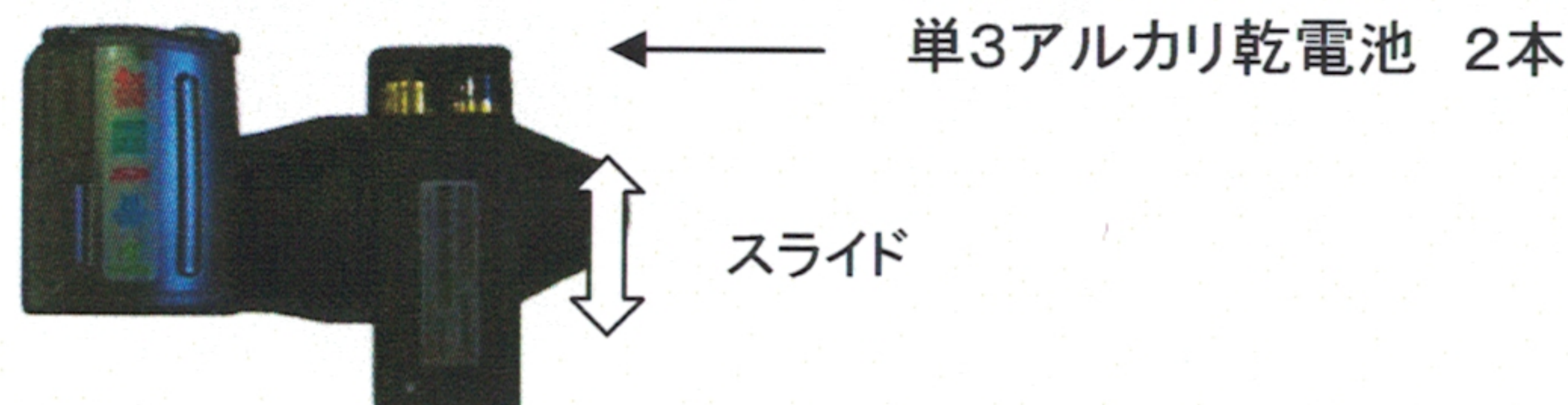
テレビを使って再生させる

1. ハイビジョンテレビにより高解像度で見れます。オプションケーブルにHD M1ケーブル HC-1を使ってハイビジョンテレビに接続し、撮像中の画像と撮影済みの画像も見ることが出来ます。(カメラユーザーガイド 94頁参照)

バッテリーケースの電池及び電池交換

長期間使用しない場合は電池を外して下さい。電池の液漏れを防ぎます。又、6ヶ月以上の長期使用の際も時々電池の液漏れのチェックをして下さい。電池の液漏れはバッテリーケースを駄目にします。液晶画面上の下側の左側にシャッター半押しで、絞り値(F5.5)その隣りにシャッタースピードが表示され、1/60秒より遅くなったら、交換して下さい。最低、照明が暗くなった場合、又は点灯しなくなった場合は電池の交換をして下さい。

1. バッテリーケースの蓋を下にスライドして外します。
2. 新しい電池と交換します。(極性を正しく入れて下さい)
3. 蓋を上に戻してロックが掛かっていることを確認します。



初期設定について

本製品は皮膚科用ダーモスコープに最適な設定・調整を丹念に行いMY(マイセッティング)モードにメモリーされています。使用時は撮影モードダイヤルを「MY」に合わせるだけで最適な撮影ができます。

重要: MY(マイセッティング)モードメモリーを変更しない様御注意下さい。
G800のマイセッティングMY1, MY2の設定は下記のようになっています。

MY1: オートフォーカスモードで撮像

MY2: マニュアルフォーカスモードで撮像

主な設定内容:

オートフォーカス=深さの異なる色素沈着に良く合う

マニュアルフォーカス=先端ガラスを皮膚に圧接した時に最適化

白バランス=肌色再現の最適化

画角(ズーム)=撮影範囲最適化

通常は、電源を「OFF」にして再度電源を「ON」にしますと工場設定に戻ります。何らかの事情で設定が変わってしまった場合は、当社に送付して頂ければ有償で再設定致します。御自身で再設定される場合は下記要領を参考にして下さい。

●MENU.ボタン設定

・マニュアルホワイト設定: LED照明を点灯し基準色被写体で設定します。

・画素設定: G800 : [4608 x 3456]
に設定し、「N」を選びます。

●撮像/再生メニュー

・フォーカス調整 / F値設定): カーペット地など深みのある被写体に先端ガラスを接触させます。マニュアルフォーカスを調整し、被写体表面と奥行き部に焦点が合うように撮影確認をしながら最適位置に調整します。

・画質・サイズ: 16N 4:3N

・フォーカス: マルチAF

・画像設定: ビビット

・露出補正: -0.3

・手ブレ補正: ON

・ホワイトバランス: 手動設定

・オートズーム切り替: オートリサイズ

・縦横自動回転再生: OFF

●その他メニューの出荷時設定

AUTO設定

・マクロ ON ・露出の生 : 0.3

・画像設定 ビビット ・手ブレ補正: ON

撮影する

1

撮像モード「MY1」又は「MY2」 通常は「MY1」に設定する。
「MY1」: オートフォーカスモードで半押し、フォーカス枠が緑色になり、フォーカスされた状態になってから押し。

「MY2」: マニュアルモードで撮像(プリセット調整済み)

撮影は「MY1」、「MY2」両方撮像して参考にして下さい。設定は出荷時に全て完了済みになっていますので調整の必要はありません。撮影時ズームレバーを操作しないで下さい。

2

電源ONの度に、望遠ボタンを押し続けて画像が拡大したら離します。画面左下のムバーの上に10Mと表示されています。

(押し続けても、10M以上にはなりません。)

それ以上押して拡大すると画質が悪くなります。

最終的な撮像する画像サイズは、「16mm x 12mm」となります。

3

エコージェルモード切換

先端ガラス面をアルコールで拭き、ガラス面にジェルを塗ります。ガラス面を患部に手前から押し当てて泡を向方側に逃がすようにジェルを延ばします。

<ヒント>

ジェルを使用した状態で、撮像する。モード切換を偏光フィルターモードにする。(赤印)それによって、同一臨床部にて撮像する。2種類の画像を比較して診断の助けとする。例えば、ブリンクテストによって、脂漏性角化症が判定される。ブリンクテストの方法は、各モードで画像を1枚ずつ撮像して用意する。

1) バナー工房ドットコムで検索し、GIFアニメ作成から作って下さい。

2) Power Pointのスライドショーモードで作って下さい。

偏光フィルターモード切換

先端ガラス面をアルコールで拭いて準備します。冬季など肌が乾燥状態の時はアルコールで一端皮膚表面を拭いてから撮像して下さい。非接触撮像が可能です。7-10mm程度離してオートフォーカスで撮像可能です。足の指の間等、接触出来にくい場所でご使用出来ます。

注: 潰瘍や出血性病変では、皮膚とデジタルダーモの間にはやはりジェル、サランラップ、ジェルという具合にして、直接の接触を避けるようにして下さい。

4

スライドスイッチをONにして照明しながら披検部を撮影します。

注1) 照明用電源スイッチはこのスライドタイプしか有りません。必ず、使用後は忘れずに切して下さい。万一忘れた場合は約30分後に自動的に切れる保護回路があります。その場合、一旦スイッチをOFFにしてONにすると元にもどります。

カルテ撮影 / 広域臨床撮影

カルテの撮影

患部撮影前(後)にカルテを撮影しておくとお客さんの特定に便利です。

- ・カメラ本体からデジタルダーモモジュールを取り外します。
- ・撮影モードダイヤルを緑のカメラマーク、「AUTO」に合わせます。マクロモードに設定します。
- ・ズームは自動的にワイド端になります。
- ・カルテが丁度画面一杯に入る距離で撮影します。

広域臨床撮影

患部だけでなく、患部の周囲を含む広い面積の撮影や患部位置を示す為の広域撮影も簡単にできます。

- ・カメラ本体からデジタルダーモモジュールを取り外します。
- ・撮影モードダイヤルを「AUTO」に合わせます。チューリップマークを押してマクロモードに設定します。
- ・ズームレバーはワイド端にします。
- ・撮影範囲にあわせて被写体とカメラの位置を調整し撮影します。(カメラと被写体は最低15cm以上離して下さい)
- ・フラッシュをAUTOして撮像します。

注1) その他の設定は通常以下の通りになっています。

ISO感度:「AUTO」、AWB:「AUTO」、フラッシュ:「ON」、フォーカス:「AUTO」

2) チューリップマークを押してマクロモードにして近接撮影が出来ます。1cm以上で撮影可能ですが、フラッシュ照明では難しいですので周囲の照明を明るくする必要があります。

皮膚撮影に便利なシリコンアダプター

従来の臨床部への密着撮像での血管を圧迫した撮像とシリコンアダプターで血管への圧迫が少ない撮像が両方できます。

1. ジェルタイプは ジェルを皮膚とガラスの間のギャップに満たせます。
2. 偏光フィルタータイプは、非接触に近い撮像ができます。
3. シリコンアダプターは、オートクレープで滅菌が出来ます。

シリコンアダプターをモジュールへ密着させることが大切です。頭部を押さえて、下の方へ押して密着させます。水をアダプターとモジュールに付けて同様に密着させますとより強固に密着します。接着力が弱くなったら、石鹸等で洗って油分を落として下さい。